

2-1 幼児(1)



ワーク2以降は、年齢や性別が異なるポートレートの「描き分け」と、目や鼻などパーツ毎の特徴の「描き分け」を行います。

では早速、2-1から2-3は幼児を描きます。描き分けのポイントは、ワーク1で学んだ「基本的な女性」との違いを意識することです。基本的な女性が「美しさ」であったのに対して、幼児は「かわいさ」を表現しています。

まず、輪郭の概形からスタートします。輪郭の概形は、かわいさを表す1:1.4の白銀比（正確には1.43）にします。①白銀比の概形は1-3の②の要領で1:1.5のT字を作った後に、**縦のラインを少し短めにした長方形**を描きます。その上で、頭のラインになる半円を描きます。次に、②幼児の目の**高さは真ん中より下にある**ため、長方形の上下を均等に分ける線を眉のラインとし、眉のラインを手掛かりに目の概形が乗る横線を引きます。そして、基本的な女性と同様に目の概形を描きます。

続いて、③額の概形を得るために、眉のラインを直径とする半円を描きます。最後に、基本的な女性と同じ要領で鼻の概形を描きます。さらに、鼻を描き込みます。幼児の鼻は低いため、小鼻・鼻尖（鼻の頭のこと）ともに小さめに描きます。

このように、幼児の顔は、基本的な女性に比べて（1）顔の輪郭が正方形に近い（縦が短い）、（2）顔のパーツが下方に寄っているといった特徴があり、こうした特徴が幼児を可愛らしくみせています。

各ステップで描く部分を黒線で表示しています。

